

あきた 市議会だより



お手をするミニぶたの「とん吉」と「とん平」に会いに来てネ！
(大森山動物園で校外学習をする旭川小学校 6 年生)

No. 127

平成19年 8 月 16 日

発行／秋田市議会

編集／あきた市議会だより編集委員会

〒010-8560 秋田市山王一丁目 1 番 1 号

電話018(866)2233 F A X 018(865)7857

ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>



「あきた市議会だより」は
再生紙を使用しています

秋田わか杉国体マスコット
「スギッチ」

6 月定例会では、議員提案の秋田市議会委員会条例の一部を改正する件を含む条例案 7 件、単行案 5 件、補正予算案 2 件および意見書案 1 件を可決しました。また、陳情 2 件をそれぞれ採択、趣旨採択しました。さらに、固定資産評価員の選任など人事案 2 件に同意しました。

5月臨時会・6月定例会の概要

5月18日

6月12日～7月2日

新しい議会がスタートしました

議長に 加賀谷 正美 氏
副議長に 宇佐美 洋二郎 氏を選出



加賀谷正美 議長

平成6年から連続5期当選。これまで総務委員長、決算特別委員長等歴任
現在60歳



宇佐美洋二郎 副議長

平成2年から連続6期当選。これまで総務委員長、議会運営委員長等歴任
現在64歳

議長に選任されて3か月になろうとしておりますが、市議会に課せられました責任の重さを改めて実感しているところであります。特にこの度は、議長職に加えて東北市議会議長の会長も務めさせていただくこととなり、東北各市の抱える諸課題への対応や、地方分権の一層の推進方策の研究、関係省庁への要望活動など、全国市議会議長会と連携して積極的に取り組んでおります。少子高齢化に加えて人口減少社会への突入など、厳しい時代が到来しますが、こうした難局を乗り越え、市民福祉の向上を目指してまいりますので、市民各位ならびに各界のご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

この度、全議員のご推挙により副議長に選任されました。もとより、私の任務は、議長をサポートし、議会が円滑に運営されるよう努めることと心得ております。私たち議員は、本来の市当局に対するチェック機能と監視機能を高め、本市財政が健全に運営されるよう、さらに努力しなければならぬと思っております。本市の課題は山積しております。第11次総合計画の実効性や中央街区再生、道なかばの三位一体改革、地方分権の推進などであります。一つ一つの課題について、真剣に議論することが市民の負託にこたえるものと思っております。本市のさらなる発展と秋田わか杉国体・わか杉大会の成功を祈念し、ご挨拶いたします。

おもな議案

5月臨時会

6月定例会

正副議長の選挙、常任委員、議会運営委員の選任を行ったほか、収入役室の廃止および会計課の設置に伴い、総務委員会の所管を改めるための秋田市議会委員会条例の一部改正など、条例案2件を可決しました。また、秋田市市税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件など単行案4件を承認しました。

◆予算

- ・コミュニティ助成事業
コミュニティ活動を行う団体の備品整備に助成します。
- ・助成団体 旭川地区コミュニティセンター運営委員会など8団体
- ・購入備品 印刷機、雑誌棚等
- ・補正額 250万円

既設市営住宅改善事業

- 既設市営住宅の外壁等改修工事と便器等改善工事を行います。
- ・補正額 1億1千612万9千円

小規模堆雪場活用社会実験事業

- 国土交通省の社会実験地域選定を受け、住宅密集地における小規模堆雪場の有効性・必要性に加え、年間を通じた道路管理施設としての機能を検証します。
- ・実験予定地域 旭南、泉、大住の小学校区内の町内会（3地区）
- ・実験の内容 小規模堆雪場を活用した除排雪効果の測定等
- ・補正額 500万円

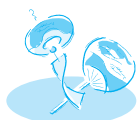
◆人 事

監査委員

菅原 弘夫 氏（新任）

農業委員会委員の推選

小 木 田 喜美雄 氏
花 田 清美 氏
佐 原 孝夫 氏
鈴木 正子 氏



新都市産業区用地活用事業

新都市産業区用地について産業用地としての有効活用を図るため秋田市土地開発公社所有地の一部の買い戻しを行います。

・補正額 1億44万5千円

河原崎遺跡緊急発掘調査事業

雄和相川銅屋地区で19年2月の事前発掘調査で発見された河原崎遺跡の緊急発掘調査を実施し、遺跡を記録保存します。

- ・調査期間 19年7月～9月
- ・調査面積 約5千㎡
- ・補正額 1千万円



河原崎遺跡の試掘状況

◆条例

秋田市議会委員会条例の一部を改正

市勢活性化推進本部を総務委員会から建設委員会の所管に変更するため改正しました。

秋田市立学校授業料等徴収条例の一部を改正

市立の高等学校等の月額授業料を県立の高等学校と同額とするため改正しました。

・実施時期 20年4月1日から

(単位：円)

学 校 名	改正後	改正前
秋田商業高等学校 御所野学院高等学校	9,900	9,600
美術工芸短期大学 附属高等学校	5,300	5,100



秋田市市税条例の一部を改正

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、租税条約の適用を受ける配当等に対する税率の特例措置の適用期限を延長するとともに、規定を整備するため改正しました。

秋田市中心卸売市場業務条例の一部を改正

切り花等の卸売を相対取引(※)の方法により行うことができるようにするため改正しました。

※相対取引Ⅱ卸売業者と買い手の協議により価格を決める取引

◆契約案件

新屋比内町市営住宅建替事業

老朽化が著しい新屋比内町市営住宅の建替えを社会福祉施設の整備および廃止4団地の土地活用と一体的に行います。また実施に当たり、PFI手法(※)を活用し、効率的で質の高い住宅の供給を図ります。

・整備施設 市営住宅260戸、集会所、公園、駐車場等

地域密着型サービスを提供する社会福祉施設

・完成予定 22年6月

※PFI手法Ⅱ公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法

◆人 事

固定資産評価員

田中政博氏(新任)

人権擁護委員

齊藤壽一氏(新任)



新屋比内町市営住宅外観透視図(事業提案時のもの)

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、国会および関係行政庁に提出しました。

○日豪EPA／FTA交渉に関する意見書

請願・陳情の結果について

採 択

陳情 日豪EPA／FTA交渉に関する意見書の提出について

趣旨採択

陳情 「非核日本宣言」に関する意見書の提出について

不採択

陳情 市内河川の水環境の保全に関する条例の制定について

継続審査

請願 都市計画道路室町保戸野線の整備促進について

陳情 「子育て新税」導入反対に関する意見書の提出について

陳情 原爆症認定制度の抜本的改善に関する意見書の提出について

聞きました

市政全般にわたり、
8人の議員が質問しました。

本会議での質問者順に、質問項目および
おもな質問と答弁の要旨を掲載しています。

秋水会 佐々木晃二

◇市長の政治姿勢◇産業経済の振興◇本市
財政◇第4次秋田市行政改革大綱◇まちづ
くり◇福祉の諸問題◇（仮称）北部地域市
民サービスセンター

子育て教育税の導入に 対する考え方は

問 県が導入を目指す、いわゆる子育て教育税について、本市の掲げる総合計画推進への影響を避けるためにも反対表明をすべきではありませんか。

答 新税導入については、県民の議論に委ねられるべきと認識していますが、県と役割分担のうえ、関連施策を推進するその責任において必要と思われる場合には、県市長会および県町村会と連携し今後も意見や提案をしていきます。また、子育て支援と教育充実が、県のみならず市町村にとっても極めて重要な課題であり、新税導入は広範な県民合意なしに結論を出すべきではないと考えています。

職員数削減計画の 目標値の見直しを

問 平成22年までに職員数を241人削減することとしていますが、さらに財政効果を生み出すため、目標値を見直すべきではありませんか。

答 現時点では、集中改革プランの計画期間中であり修正は考えていませんが、引き続き、少数精鋭体制の構築に向け、施設の複合化や指定管理者制度の活用、ならびに組織のあり方や人事制度について、不断の検証と見直しを行い、現計画の目標値を上回るよう、さらなる職員削減を目指していきます。

市民クラブ 花田清美

◇中心市街地の活性化◇第4次秋田市行政改革大綱◇税制度◇市営墓地◇環境問題◇南部地域の諸課題

家庭ごみの有料化は

問 家庭ごみの有料化について研究中とのことですが、有料化をこみ減量の有効な手段と考えているのですか。

答 ごみの減量化や費用負担の公平性確保、分別の徹底などを目的として家庭ごみの有料化に踏み切る自治体が増加しており、本市でも他都市の導入の経緯や導入後の減量効果などを調査しているところです。なお、有料化は、あくまでごみ減量の最終手段と位置づけ、まずは積極的な情報提供や啓蒙・啓発活動、市民と協働した取り組みを進めながら、一般廃棄物処理基本計画で定めている22年度までの減量目標達成に努めます。



千秋公園でのごみ減量キャンペーン

（仮称）南部地域市民サービス センターの建設候補地は

問 旧農業試験場跡地を、同センターの建設候補地にする考えはありませんか。

答 建設地の選定については、施設規模や周辺道路状況などを考慮した南部地域内における配置バランスやトータルコストなど多角的な検討が必要であり、地域住民の合意形成が前提条件になるものと考えており、旧農業試験場跡地についても、以上の点を踏まえ調査を進める必要があります。今後、同センターの建設時期を勘案しながら、地域住民の要望を見極めつつ、最適地について検討していきます。

フォーラム21 小林一夫

◇第11次秋田市総合計画の期間計画◇行政改革◇福祉行政◇教育行政

教育現場の多忙化解消を

問 教員と子どもたちとの触れ合いの時間が少なく、真の教育ができない勤務実態となっていることから、教員の多忙化を解消する対策を講じるべきではありませんか。

答 17年4月から市立の全小中学校で二学期制を実施し、多忙化の解消について一定の成果が上がっていると捉えています。また、各校では学校行事の精選やノー残業デーを設定しているほか、教育委員会においても学校に依頼する提出文書の簡略化等に配慮し、事務的作業の縮減を図っています。今後も、教員一人一人の多忙感を軽減する観点から、温かい人間関係を基盤とした職場環境づくりを推進し、子どもと教師との触れ合いの時間を確保できるよう各校を指導していきます。



企業誘致の促進を

問 若者の雇用の場を確保するためにも、企業誘致を積極的に促進すべきではありませんか。

答 19年度から個別の企業誘致案件等に迅速に対応するため、部局横断的なプロジェクトチームを設置するなど、推進体制の強化を図ったほか、現在、業績の良い輸送機関連や市内に特色ある基盤を持つ電子・デバイス関連、拡大する情報サービス業などへの立地の働きかけを重点的に行っているところです。今般、成立した企業立地促進法による支援制度の効果的な活用も図りながら、積極的に企業誘致に取り組んでいきます。

社会・市民連合 鈴木忠夫

◇市長の政治姿勢◇本市の行政組織◇第11次秋田市総合計画◇保育行政◇社会福祉法人に対する指導監査◇麻しん（はしか）等◇新エネルギーの活用◇きれいなまちづくり◇ごみの中間集積所◇秋田市教育ビジョン◇地域の諸課題

新エネルギーの活用計画は

問 地球温暖化防止のため、太陽光発電等新エネルギーの活用について、今後具体的な計画はありますか。

答 新エネルギーは、本市の環境基本条例に掲げている環境像「人にも地球にもやさしいあきた」の実現を目指すためにも活用すべきと考えており、今後は、19年3月に改定した環境基本計画のリーディング・プロジェクトとして、（仮称）市民サービスセンターの建設の際に、省エネルギーの推進と、新エネルギー設備の導入を図ることとしています。

市立保育所で

24時間保育を実施すべきでは

問 就労形態の多様化などに対応するため、市立保育所で24時間保育を実施すべきではありませんか。

答 24時間保育は現在、私立の認定保育施設など4カ所で行っていますが、利用状況は、午前0時までが20人程度、午前2時までが10人程度、それ以降が7人程度と需要は少なく、また、夜間保育を実施している認定保育施設に対しては、補助事業により受け入れ体制の強化等を行っており、現在の24時間保育に対する需要には対応できていると考えています。したがって、市立保育所で実施する考えはありませんが、今後とも24時間保育への需要動向を調査研究していきます。

公明党秋田市議会 成沢淳子

◇市政運営◇子育て支援◇高齢者施策◇（仮称）市民サービスセンター◇防災対策◇斎場改築

防災学習施設の設置を

問 防災意識の醸成のため、子どもから大人まで、防災について日常的に気軽に学習できる施設を土崎消防署の改築とあわせて設置すべきではありませんか。

答 防災学習施設は、展示型や体験型などさまざまな形態で設置されており、より市民の防災意識の醸成につながる施設であると理解しています。今後は、由利本荘市に総合的な防災学習施設として設置されている県防災センターとの機能分担などを見極めながら、より市民密着型の機能を備えた学習スペースの設置が可能なものか研究していきます。

土崎消防署の改築計画を

早期に立てるべきでは

問 （仮称）北部地域市民サービスセンター建設とあわせて、土崎消防署の改築計画を早期に立てるべきではありませんか。

答 土崎消防署本署は、建設後37年が経過し、施設・設備は老朽化しており、防災拠点として消防に寄せる市民の期待にこたえるためにも、環境整備を図る必要性は認識しています。このことを踏まえ、地域住民の理解を得ながら、県の進める消防広域化推進計画に対応できる単独の新庁舎建設を考えています。なお、管内には石油コンビナート地域や港湾施設を抱え、また化学工場が多数点在していることから、大規模災害等の発生に対応する機能を兼ね備えた庁舎を検討していきます。



老朽化が進んでいる土崎消防署

聞きました

市政全般にわたり、
8人の議員が質問しました。

本会議での質問者順に、質問項目および
おもな質問と答弁の要旨を掲載しています。

秋水会 菅原琢哉

◇健康で安全安心に暮らせるまちづくり◇
地域防災の強化◇男女共生社会の確立◇市
民意見の聴取◇スポーツ活動の推進◇環境
対策◇伝統工芸の振興◇北部地域の諸課題

地域防災のため 初期消火活動の強化を

問 初期消火活動のため、子どもや高齢者などが利用する施設に対して、使用方法が簡単な「投てき用簡易消火用具」の設置を積極的に推進すべきではありませんか。

答 幼稚園、高齢者施設等において広く普及しているのは、木材などの普通火災や油、電気火災等すべての火災に対応する粉末消火器となっています。投てき用簡易消火用具は、使用方法が極めて簡単ではあるものの、普通火災に限定されるものであるため、こうした使用上の条件を考慮したうえで、建物構造に適した消火器具の設置を指導していきます。

飯岡山をレクリエーション 拠点として整備すべきでは

問 飯島の飯岡山自然緑地をグラウンドゴルフやドッグパークとして活用できるよう整備してはどうですか。

答 近年、里地里山の保全が求められていることや、市の公園緑地の整備において、既成市街地における災害時の一次避難地の整備を最優先に取り組んでいることを考慮すると、現時点では困難と考えます。しかし、芝生広場をグラウンドゴルフ等に活用することは可能であり、誰もが快適に利用できるよう、市民による広場の利用に関するルールづくりを支援していきます。

秋水会 熊谷重隆

◇市長の政治姿勢◇住民参加型「市場公募債」の発行◇防災対策◇農業振興◇畜産振興◇教育行政◇地域の諸課題

夜間防災訓練の実施を

問 災害はいつ発生するか予測がつかないため、夜間の災害を想定した防災訓練を実施すべきではありませんか。

答 本市の総合防災訓練では、毎年、市内数カ所を会場に中高層建物火災防御、屋外タンク火災防御などの訓練を行っています。現在は、より多くの市民に参加してもらうことを目的に日中の訓練を実施していますが、災害は昼夜を問わず発生する可能性があるため、夜間における備えを整備することも必要であると認識しており、今後、夜間の災害に対する対策についても研究していきます。



飯島地区で実施された総合防災訓練の様子

放課後児童クラブの設置を

問 戸島小学校区では、近年、共稼ぎ世帯が多くなっていることから、小学校の空き教室を利用して放課後児童クラブを設置する考えはありませんか。

答 留守家庭等における放課後の児童対策として、生活の場の提供を目的とした、いわゆる放課後児童クラブと、児童館等での子どもたちへの健全な遊びの提供等を目的とした放課後子ども教室推進事業を実施しています。戸島小学校については、留守家庭児童数が増加傾向にあることから、放課後の子どもの居場所づくりは必要と考えており、今後、児童室等の設置について検討していきます。

秋水会 齊藤善悦

◇第11次秋田市総合計画◇地域格差の是正◇産業振興◇農業振興◇地域の諸課題

商工業と農林業の連携による 産業振興の推進を

問 地域資源である豊富な農林産物を活用し、農工商の一体化した地域振興策として、商工業と農林業の連携による産業振興を推進すべきではないですか。

答 地場農産物の特産品化や地域特産品開発等については、加工技術や販売等の優れたノウハウを有する商工関係団体や、安定した原材料の供給が可能な農林生産者等との連携を通じて可能になるものと判断しています。したがって、商工部、農林部の連携については、既存の支援策を共同で点検・整理することにも、新たな発想による特産品の開発等にも対応できるよう、相互補完による支援策の再構築等を検討していきます。



アルヴェで開催された「次世代育成支援協働フォーラム in あきた」

絆づくりに向けた取り組みは

問 絆づくりは、団塊の世代を中心に、市民団体・組織を網羅した市民運動を構築し、地域での定着と拡大を図るべきではないですか。

答 家族や地域の絆づくりは、第11次秋田市総合計画に最重要課題と位置づけ、「次世代育成支援協働フォーラム in あきた」の開催等に加え、全庁を挙げて基本的な考え方の構築に向けた作業に着手したところです。こうした取り組みには行政主導では限界があるため、既存の市民団体との連携が肝要であり、団塊の世代はもとより、幅広い年齢層を巻き込んだ実践活動を通じて気運を醸成し、ひいては市民運動としての広がり期待しているところです。

委員会の新しい委員を紹介します

総務委員会

◎鎌田 修悦(秋水) ○熊谷 重隆(秋水)
 長谷川 昭一(秋水) 今川 雄策(秋水)
 相原 政志(市ク) 花田 清美(市ク)
 人見 高司(フォ21) 佐藤 哲治(フォ21)
 宇佐美洋二郎(社市) 成沢 淳子(公明)

厚生委員会

◎石塚 秀博(公明) ○小野寺 誠(秋水)
 榎 清(秋水) 工藤 四郎(秋水)
 菅原 琢哉(秋水) 渡辺 良雄(市ク)
 齊藤 勝(市ク) 佐原 孝夫(フォ21)
 猪股 竹作(社市) 加賀屋千鶴子(共産)
 倉田 芳浩(護憲)

教育産業委員会

◎鳥井 修(市ク) ○齊藤 善悦(秋水)
 高橋 智徳(秋水) 小木田喜美雄(秋水)
 菅原 博文(秋水) 菊地 達雄(市ク)
 小林 一夫(フォ21) 伊藤 巧一(フォ21)
 鈴木 忠夫(社市) 近江 喜博(公明)

建設委員会

◎小原 譲(秋水) ○堀井 明美(公明)
 赤坂 光一(秋水) 佐々木 晃二(秋水)
 岩谷 政良(秋水) 相場 金二(市ク)
 菅原 弘夫(市ク) 芦田 晃敏(フォ21)
 藤田 正義(社市) 佐藤 純子(共産)

議会運営委員会

◎工藤 四郎(秋水) ○鈴木 忠夫(社市)
 長谷川 昭一(秋水) 佐々木 晃二(秋水)
 小野寺 誠(秋水) 渡辺 良雄(市ク)
 花田 清美(市ク) 小林 一夫(フォ21)
 佐藤 哲治(フォ21) 堀井 明美(公明)

◎は委員長、○は副委員長、()は会派名で、秋水は秋水会、市クは市民クラブ、フォ21はフォーラム21、社市は社会・市民連合、共産は日本共産党秋田市議会議員団、公明は公明党秋田市議会、護憲は護憲・わんぱくの会

常任委員会の 審査から

6月定例会の各常任委員会で
交わされた質疑応答の中から、
おもなものを掲載しています。

総務委員会

問 国で改正した選挙等の執行
経費の基準に準じて、選挙長等
の報酬額が引き下げられていま
すが、国が基準を引き下げたの
はなぜですか。

答 最近における公務員給与の
改定状況等を踏まえて、実情に
即するよう見直しを行ったとの
ことであり、国家公務員の給与
改定は平成14年以降マイナスマ
たは据え置きとなっているため、
引き下げられたものと理解して
います。

厚生委員会

問 市立病院における結核病床
の利用率の状況はどうですか。
また、10床減らすことにより、
結核患者の治療に影響はないの
ですか。

答 結核病床の利用率は、16年
度から18年度までの3年間の平
均で約44%です。これを現在の
病床数の32床に乗じて算出され

る必要病床数は14床であること
から、10床減らし22床となるこ
とによる影響はないものと考え
ています。また、結核患者の治
療については、結核病床がなく
なった地域からの患者の流入が
見込まれるものの、他の病院と
の連携が確約されており、十分
に対応が可能なものです。

教育産業委員会

問 花きの取引については、な
ぜこれまで相対取引ができない
ことになっていったのですか。ま
た、今、導入しようとするのは
なぜですか。

答 市場の取引は、従来、せり
売りを基本として行われてきた
ものです。しかし、全国的に、
花きに限らず青果、水産等にお
いても、徐々にせり売りでの取
引割合が下がっている状況であ
り、これは最近の卸売市場取引
の流れです。このような流通形
態の変化と、量販店などの開店
時間に十分な品揃えを望む声が
あったり、また、せり売りのみ
では消費者のニーズに答えられ
る量を確保できない場合もある
ことなどから、相対取引の導入
を望む業者の要望に応える策と
して、せり売りのほかに、相対

取引を導入しようとするもので
す。

建設委員会

問 新屋比内町市営住宅建替事
業において、第2期の工期が終
了後、入居者を募集するに当
たっては、あらかじめ戸数や期
間を決めたうえ、子育て世帯を
優先的に入居させるなどの配慮
をすべきではないですか。

答 新屋比内町市営住宅に限ら
ず、本市の今後の住宅施策とし
て、十分検討したいと考えてい
ます。

議会の動き

5月	17日	全員協議会
	18日	5月臨時会
	31日	議会運営委員会
6月	4日	教育産業委員協議会
	12日	6月定例会 (7月2日まで)
7月	2日	議会だより編集委員会
	11日	議会だより編集委員会
	19日	議会だより編集委員会
	20日	教育産業委員協議会

ケーブルテレビの議会中
継が一新、さらにインター
ネットでも配信開始

(株)秋田ケーブルテレビで放映
中の本会議(生中継)が従来の
4分割固定画面から、1画面で
大きく放映されることになり、カ
メラの切り替えによって臨場感あ
る議会中継に更新されました。

さらに、インターネットでの
録画映像配信も開始しましたの
で、インターネット環境が整っ
ているところであれば、市議会
のホームページにアクセスする
ことにより、いつでも議会映像
をご覧いただけます。このこと
により、さらに市議会の視聴の
機会を広げ、市民の皆様の市議
会への関心を高めたいと考えて
います。なお、インターネット
の録画映像は、発言日から数日
後の配信となります。

市議会のホームページ (<http://www.city.akita.akita.jp/council/>)

※お尋ねになりたいことは、議
会事務局までお問い合わせくだ
さい。

電話 (866) 2233

次回の定例会は
8月下旬の予定です

新しい編集委員です



委員長 熊谷 重隆
副委員長 成沢 淳子
鳥井 修
伊藤 巧一
藤田 正義

市議会議員選挙後初の定例会。
市政の方向性について活発な議
論が展開されました。編集委員
会も新体制です。市議会と市民
の皆様とのかけ橋として、より
よい紙面づくりに努めてまいり
ますので、ご意見・ご感想をお
寄せ下さい。

(編集委員一同)